

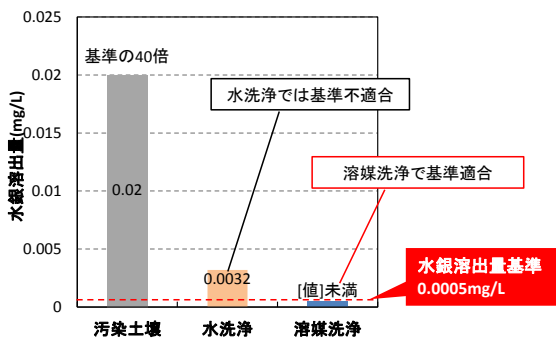
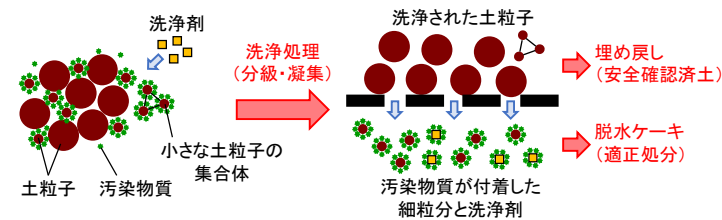
# 溶媒洗浄による水銀汚染土壌の浄化

～ 九州大学 箱崎キャンパスにて実証 ～

工場や研究施設などで顕在化する重金属等汚染、特に水銀汚染土壌が問題となるケースが増えています。現状では場外搬出処分が主流となっていますが、膨大な処理コストがかかります。

鴻池組では、九州大学、エコサイクル、水循環エンジニアリングと共同で、従来現地処理が困難とされていた水銀汚染土壌の現地での土壌洗浄処理技術を開発し、九州大学箱崎キャンパス跡地において現地における高度な水銀汚染土壌浄化技術を実証しました。

## 溶媒による水銀汚染土壌の洗浄

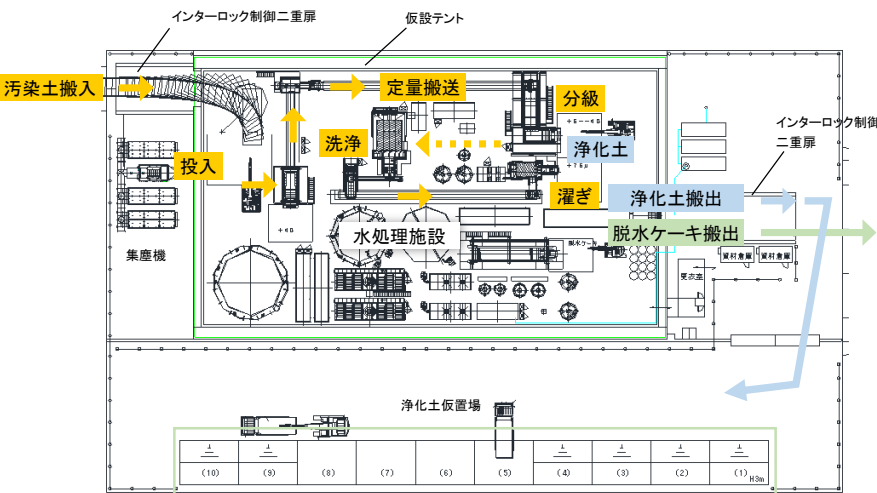


- 掘削した汚染土を小石や砂、細粒分に分けます。
- 土壌に付着した汚染物質（水銀他、重金属）を、洗浄剤を用いて効率よく取り除き（凝集）、従来の水洗浄では浄化が困難な汚染土壌を溶媒洗浄で浄化します。
- 集められた汚染物質を脱水ケーキとして固め、構外へ搬出し、法に基づく汚染土壌処理施設にて適切に処理します。

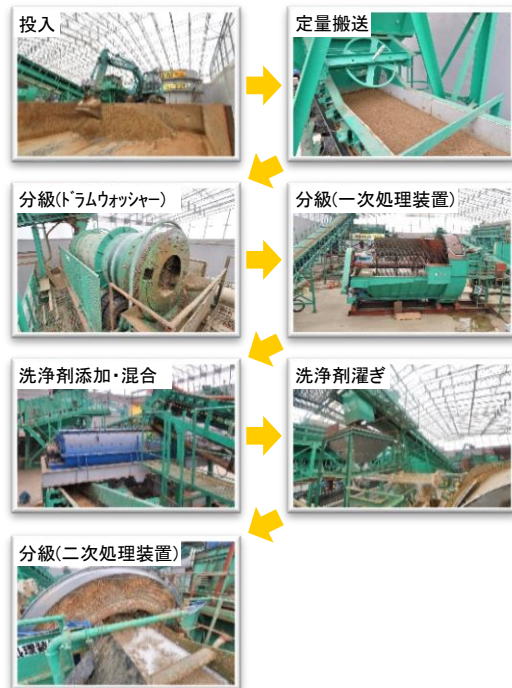
○高濃度水銀汚染土壌に適用し、土壌環境基準（水銀 0.0005mg/L）の40倍の汚染土壌による洗浄試験において、本技術の有効性を確認しました。

## 九大箱崎サイトで実証

○実証試験結果を基に、実機でも効果を確認し、実処理に反映しています。



浄化土仮置場に仮置きされた浄化土は、100m<sup>3</sup>毎に分析し、基準値内に洗浄されていることを確認したあと、敷地内に埋戻します。



## 適用範囲

- 汚染土壌の構外搬出処分を伴わないオンサイト処理に適用できます。
- 水銀の他、鉛、砒素、ふっ素、セレン等の重金属等汚染土壌（土壌汚染対策法に定める第二種特定有害物質）に適用可能です。
- 細粒分の少ない砂質土への適用が効果的です。



洗浄プラント外観



洗浄設備の外観

2021  
150

おかげさまで、私たち鴻池組は  
2021年で創業150周年

まじめに、まっすぐ  
**KONOIKE**

(株)鴻池組 環境エンジニアリング本部  
大阪 TEL 06-6245-6589  
東京 TEL 03-5201-7920  
<https://www.konoike.co.jp/request/index.php>